

## 日本膝関節学会雑誌 依頼原稿執筆要項

### 1. 目的ならびに依頼者

日本膝関節学会（以下、本学会）雑誌は、学会員の診療・研究のより一層の向上を目的に、本学会学術集会での教育研修講演・シンポジウム・パネルディスカッションの演者の中から、本学会誌編集委員会での審議を経て、論文原稿を依頼するものである。なお、寄稿された論文は、編集委員会委員が査読を行い、加筆・訂正を求める場合がある。

### 2. 体裁

#### 1) シンポジウム・パネルディスカッション

①序文（和文）：原則として、座長が執筆。2,000 字以内で執筆する。

②各演者が総説論文形式で執筆し、文字数は 8,000 字以内とする。

<文字数換算の目安>

文字数は、本文・文献・図表までの文字数とし、表紙・要旨を含めない。

図表とも 1 枚につき、組みあがり後のレイアウトでページの横幅半分以内で納まる小サイズのものを 200 字、ページの横幅半分以上要する大サイズを 400 字換算）とする。

なお、組み写真は構成される元の写真 1 枚ごとに 200 字換算とする。

例) 大サイズの表 1 つ、小サイズのシェーマ 1 つ、写真 4 枚による組写真の図 1 つの場合、 $400+200+(200\times 4)$ で 1,400 文字と換算されるため、本文・文献は 6,600 文字までとなる。

③表紙は、和文の表題（副題は前後を全角ハイフンで挟む）・著者名・所属（いずれも共著者も含む）、英文の表題・著者名・所属、Key words 英文（和文併記）を 3 語、著者連絡先（郵便番号・住所・所属機関名・著者名・電話・FAX・E-mail アドレス）を 1 頁内にまとめる。

④要旨は、和文にて 1000 字以内とし、表紙・本文とは別のページにまとめる。

#### 2) 教育研修講演

総説論文形式で執筆し、文字数、表紙、要旨については、上記シンポジウム・パネルディスカッションと同様。

### 3. 本文

①常用漢字、新仮名使いを使用し、学術用語は医学用語辞典（日本医学会編）、整形外科学用語集（日本整形外科学会編）及びその他の学会編集の用語集に従う。

②数字は算用数字（1、2、3・・・）を使用するが、成語はそのまま記載する（例：一般、同一）。

③単位符号は CGS 単位を用い、単位符号の後ろに省略記号（.）をつけない。

④日本語になる欧語（例：ligament）はなるべく日本語を使い、人名はカナ書きを避け原語

で記載する（例：Wrisberg 靭帯、Hoffa 病）。また、文頭と固有名詞以外の欧語は全て小文字とする。

#### 4. 図 表

- ①図（写真も含む）は提出されたものをそのまま使用できるように、図中の矢印や文字など完成された状態で、なおかつ鮮明なものとする。図番号は図の下部分に明記する。
- ②図表のタイトル・説明文は、図表自体とは別に文字原稿としてまとめて添付する。
- ③カラー掲載が必要な場合はその旨を各々の図番号の箇所に明記すること。
- ④学会側でのシェーマ図の作成（リライトも含む）は行わず、元原稿をそのまま利用する。

#### 5. 参考文献

①10 篇程度の重要なものとどめ、文献の配列は引用順に番号を付け本文中の引用箇所に肩見出し番号として記載する。

②文献の記載は下記の例に従う（JOS に準ずる）。なお記載する著者の数は 4 名以上の場合は 3 名までを連記し、あとは「ほか」「et al」と記載する。

<雑誌> 著者名. 表題. 誌名 発行年; 巻数 : 頁.

例) 渡辺正毅. 関節鏡の使い方と見方. 関節鏡 1978; 3 : 73-76.

Slocum DB, James SL, Larson RI, et al. Clinical test for anterolateral instability of the knee. Clin Orthop 1976 ; 118 : 63-69.

雑誌略称は Index Medicus に準ずる。Proceeding または学会抄録は表題の頁のみ記載する。In press の文献は原則として引用しない。

<単行書> 著者名. 表題. 編者. 書名. 版. 発行地: 発行者 (社); 発行年. 引用頁.

例) Watanabe M, Takada S, Ikeuchi H, et al. Atlas of Arthroscopy. 3 rd ed. Tokyo : IgakuShoin ; 1 978. 56-71.

例) 富士川恭輔. 膝関節の発生. 富士川恭輔編. 膝の臨床. 初版. 東京:メジカルビュー社; 1999. 2-5.

#### 6. プライバシー保護

臨床研究はヘルシンキ宣言に、動物実験は各施設の規定に、それぞれ沿ったものとする。

患者の名前、イニシャル、病院での ID 番号など、患者個人の特定可能な情報を記載してはならない。

投稿に際しては「症例報告を含む医学論文及び学会研究会発表における患者プライバシー保護に関する指針（外科関連学会協議会：平成 16 年 4 月 6 日）」

<https://www.jssoc.or.jp/other/info/privacy.html> を遵守すること。

#### 7. 利益相反の開示

本学会雑誌は、寄稿される論文の内容に影響を及ぼしうる資金提供、雇用関係、その他個人的な関係を明示するよう求める。特に研究に対して受けた営利企業、各種団体からの支援（金銭、物品、無形の便宜を含む）を開示することが必要である。研究内容に関わる場合は具体的に支援内容（資金、物品、人的提供、測定など便宜供与の実態）を記載する必要がある。

## 8. 著作権

本学会雑誌掲載後の著作権は、本学会に帰属し、掲載後の再投稿、他誌への転載は本学会編集委員会の許可を要する。しかし、教育、研究、学術活動を目的に著者（共著者含む）が論文・講演原稿の全部、もしくは一部の複製を行うことは、以下の附則を遵守することを条件に本学会の許諾なしに認める。ただし、第三者による複製、商業活動・宣伝目的の複写には、本学会もしくは本学会が著作権の管理を委託した機関の承認が必要となる。

附則 1：全体の複写は必ず表紙ページを含み、論文の表題、掲載雑誌名、巻数、ページ数が明示されねばならない。

附則 2：図、表の使用はその出典が明示されねばならない。また、部分的な変更を加えた場合にも原図の出典が明示される必要がある。

附則 3：複写・転載が、第三者による商業活動・宣伝目的に相当するかどうかの判断は、本学会編集委員会の判断によるものとする。

附則 4：本学会編集委員会が、第三者による商業活動・宣伝目的に相当すると判断した複写・転載については、所定の著作権使用料納入が必要である。

また、他誌・他書からの図・表の引用に関しては、著者は事前に一次掲載元へ転載許諾申請をし、許可書を投稿時に添付すること。本学会雑誌論文掲載の際は、「〇〇より引用」などと引用元を明記すること。

一般社団法人 日本膝関節学会（JKS）事務局

〒103-0027 東京都中央区日本橋 3-10-5 オンワードパークビルディング

株式会社コングレ内

TEL 03-3510-3746 FAX 03-3510-3748

E-mail [info@knees.or.jp](mailto:info@knees.or.jp)

2023年12月7日制定